

◆進級・卒業要件◆

本学部では進級および卒業するための要件を設けています。

下位年次から計画的に単位を修得しておくことが重要です。

◆進級要件◆

区分	履修要件
2年次への進級	1年次の配当授業科目のうち専門科目（「初年次ゼミナール」2単位、「基礎ゼミナール」2単位を含む）ならびに教養科目のなかから総計24単位以上修得していること。
3年次への進級	1、2年次の配当授業科目のうち専門科目（「初年次ゼミナール」2単位、「基礎ゼミナール」2単位、「基礎演習Ⅰ、Ⅱ」4単位を含む）ならびに教養科目のなかから総計60単位以上修得していること。
4年次への進級	1～3年次の配当授業科目のうち、専門科目70単位以上（「初年次ゼミナール」2単位、「基礎ゼミナール」2単位、「基礎演習Ⅰ、Ⅱ」4単位、「文化演習Ⅰ、Ⅱ」4単位、文化・社会科目のうち「英語圏概論」、「中国語圏概論」、「スペイン語圏概論」、「インドネシア・マレー語圏概論」から選択した専攻言語に対応する科目2単位、「エアスタディーズ」から日本、東アジア、東南アジア、ヨーロッパ、アフリカ、北アメリカ、ラテンアメリカ、オセアニアのうち、いずれか4単位以上を含む）ならびに教養科目（「基礎英語Ⅰa」1単位、「基礎英語Ⅱa」1単位、「キャリアデザインⅠ」1単位、「キャリアデザインⅡ」1単位の計4単位を含む）を含め、総計100単位以上修得していること。

◆卒業要件◆

4年以上在学し、（１）～（３）に示す要件をすべて充足しておくことが必要です。

（１）卒業に必要な単位数

区分		必要単位数
専門科目		86単位以上
教養科目	英語系、外国語系、数理・情報系、スポーツ系、共通基礎系	10単位以上 （英語系、外国語系科目4単位以上を含む）
	人文科学系、社会科学系、自然・科学技術系、地域志向系、教養特別系	16単位以上
	キャリアデザイン系、日本語系	5単位以上
	上記の各分野区分に定める卒業に必要な単位数を超えて修得した科目	7単位以上
計		124単位以上

*各区分で卒業に必要な単位数の内訳は所属コースによって異なるため、必ず「（２）卒業要件のうち、専門科目および教養科目の履修方法（コース別）」を参照してください。

（２）卒業要件のうち、専門科目および教養科目の履修方法（コース別）

◆英語プロフェッショナルコース◆

区分等		単位数等
専門科目	専攻言語科目	40単位以上（選択必修科目23単位を含む）
	文化・社会科目	20単位以上（選択必修科目6単位以上を含む） ただし、次の条件をすべて満たすものとする。 １．「英語圏概論」2単位を修得。 ２．「エアスタディーズ」のうち、日本、東アジア、東南アジア、ヨーロッパ、アフリカ、北アメリカ、ラテンアメリカ、オセアニアのいずれか4単位以上を修得。
	パッケージプログラム科目	
	ゼミ・卒業研究	16単位
	その他専門科目	10単位以上
計		86単位以上
教養科目 （英語系、外国語系、数理・情報系、スポーツ系、共通基礎系）		10単位以上（英語系、外国語系科目4単位以上を含む） ただし、次の条件を満たすものとする。 「中国語Ⅰ」、「スペイン語Ⅰ」、「インドネシア語Ⅰ」、「フランス語Ⅰ」、「韓国語Ⅰ」のうち、いずれか1単位以上を修得。

◆国際キャリアコース◆

区分等		単位数等
専門科目	専攻言語科目	26単位以上（選択必修科目20単位を含む）
	文化・社会科目	20単位以上（選択必修科目6単位以上を含む） ただし、次の条件をすべて満たすものとする。 １．「英語圏概論」、「中国語圏概論」、「スペイン語圏概論」、「インドネシア・マレー語圏概論」は、選択した専攻言語に対応する科目2単位を修得。 ２．「エアスタディーズ」のうち、日本、東アジア、東南アジア、ヨーロッパ、アフリカ、北アメリカ、ラテンアメリカ、オセアニアのいずれか4単位以上を修得。
	パッケージプログラム科目	14単位以上（選択必修科目2単位以上を含む）
	ゼミ・卒業研究	16単位
	その他専門科目	10単位以上
	計	86単位以上
教養科目 （英語系、外国語系、数理・情報系、スポーツ系、共通基礎系）		10単位以上（英語系、外国語系科目4単位以上を含む） ただし、次の条件を満たすものとする。 「実践英語Ⅰb」、「中国語Ⅰ」、「スペイン語Ⅰ」、「インドネシア語Ⅰ」、「フランス語Ⅰ」、「韓国語Ⅰ」のうち、専攻言語以外のいずれか1単位以上を修得。

- 注１．各コース共、専攻言語科目は、カリキュラム表に定める選択必修科目をすべて含めなければならない。
- 注２．教養科目の英語系科目および外国語系科目については、専攻言語科目は履修できない。（基礎英語Ⅰa、基礎英語Ⅱaを除く）
- 注３．外国人留学生にあっては、外国人留学生対象の授業科目の修得単位のうち、「日本事情ⅠⅠ」および「日本事情ⅠⅡ」については上記の文化・社会科目の選択科目の単位に、その他の科目については6単位まで専攻言語科目の選択科目の単位に代えることができる。
- 注４．帰国学生にあっては、帰国学生対象の授業科目の修得単位のうち、「日本事情ⅠⅠ」および「日本事情ⅠⅡ」については上記の文化・社会科目の選択科目の単位に、その他の科目については6単位まで専攻言語科目の選択科目の単位に代えることができる。

（３）卒業に必要なGPA値

入学時からの累積GPA（後述）が1.3以上であること。

◆G P A制度について◆

本学部では、G P A制度を導入しています。
G P Aとは、「成績の評語」に対応する数値として、「G P (GradePoint)」を付与し、履修した授業科目のG Pに単位数を乗じた値の総和に対して、同授業科目の単位あたりの平均を算出した値のことです。これは各科目の成績平均値「G P A (Grade Point Average)」を用いて、単位数という学修の量だけではなく、成績評価に基づく質を重んじた学修をしてもらおうという制度です。

G P Aは、各学生の指導担当教員が履修指導を行う際の指標として活用するほか、卒業要件にG P A 1. 3以上であることが含まれています。履修申請した科目のうち不合格科目が多くある場合、G P Aを下げることになりますので、計画的に履修登録し、履修放棄などは避けて、履修登録した科目は最後まで受講するか、履修辞退制度を活用することが重要です。

成績の評語とG Pの対応表およびG P A計算式は次のとおりです。

成績	評語	G P (グレードポイント)	可否
認定	T		認定
1 0 0点～9 0点	A	4	合格
8 9点～8 0点	B	3	
7 9点～7 0点	C	2	
6 9点～6 0点	D	1	
5 9点～4 0点	E	0	不合格
3 9点～0点	F		
定期試験未受験、 評価不能	*		

$$G P A = \frac{(4 \times A \text{の修得単位数}) + (3 \times B \text{の修得単位数}) + (2 \times C \text{の修得単位数}) + (1 \times D \text{の修得単位数})}{\text{履修した授業科目の単位数の総和 (不合格科目の単位数含む・履修辞退科目の単位数は含めない)}}$$

◆単位修得状況欄の確認方法について◆

単位修得状況欄については【略称】で表記されます。
下表の正式名称を参照し、進級・卒業要件の確認にご活用ください。

成績用科目分類（略称）	成績用科目分類（正式名称）
判定対象	判定対象科目
専門	◆専門科目◆
必修	《必修》
選必	《選択必修》
選必言語	【専攻言語】
概論	【文化・社会（概論）】
エリア	【文化・社会（エリア）】
パッケージ	【パッケージプログラム】
選択	《選択》
選択言語	【専攻言語】
文パッ	【文化・社会、パッケージ】
文化社会	【文化・社会】
パッケージ	【パッケージプログラム】
その他	【その他（資格認定含む）】
他学部	【他学部・他学科】
教養	◆教養科目◆
必修	《必修》
選必	《選択必修》英語系、外国語系
選択	《選択》
選択 A 群	【英語外国語、スポーツ、共通基礎】選択 A 群
選択 B 群	【人文科学、社会科学、自然・科学技術、地域志向、教養特別】選択 B 群
選択 C 群	【キャリアデザイン、日本語】選択 C 群
留学帰国	【外国人留学生・帰国学生対象科目】
判定外	判定対象外科目
教職課程	◆教職課程科目◆

■問い合わせ先 教 務 課 072-800-1033/ 072-839-9106